

2022 年度岩木健康増進プロジェクト健診に ご参加いただいた皆様へ

下記の研究に用いるため、皆様の情報を利用させていただきますので、お知らせいたします。

研究課題名： 血中尿酸値による抑うつ傾向の予測

研究の目的

当院麻酔科では術後せん妄や術後うつに関する研究を行っています。これらの共通点は術後のケアや患者とその家族の生活の質に関わることに加えて、発症機序に脳内炎症が関与していることです。2022年に我々は岩木プロジェクトのデータを利用して炎症を反映する好中球リンパ球比が高値である人ほど抑うつ傾向にあることを報告しました。一方で、同年に臨床データを使用して術前の好中球リンパ球高値が術後せん妄と関連することも報告しました。また、2023年に臨床データを使用して術前の血中尿酸値低値が術後せん妄の発症に関与していることを報告しました。これは尿酸が脳内炎症を抑制することによるものと考えられます。今回我々は岩木プロジェクトのデータを用いて、血中尿酸値と抑うつとの関連を調べることを目的に本研究を計画しました。

研究実施期間： 実施許可日 ~ 2025年 3月 31日

対象となる方： 2022年の岩木健康増進プロジェクト健診に参加された方

利用させていただきたい試料・情報について

以下の情報を研究責任者である竹川 大貴の責任の下、標記研究課題実施のために弘前大学内で利用します。

先行研究「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発（承認番号：2021-166-3）」において取得された以下のデータ

- 個人記録票（性別、年齢、身長、体重、腹囲、血圧）
- 健康調査票（家族構成、配偶者、最終学歴、既往歴、薬物服用状況、労働状況、生活習慣（喫煙、飲酒、運動、睡眠）、CES-D）
- 血液検査（白血球数、白血球分画、赤血球数、血小板数、AST、ALT、 γ -GTP、クレアチニン、血中尿素窒素、血糖値、ヘモグロビン A1c、高感度 CRP、血中尿酸値、IL-6、IL-1、TNF- α ）

具体的には、2022年岩木プロジェクト参加者を対象とし、うつ病の診断を受けている参加者、高尿酸血症の治療を受けている参加者、データ欠損のある参加者を除外します。

The Center for Epidemiologic Studies Depression Scale (CESD) といううつ病のスクリーニング検査に用いられているアンケート調査の結果を用いてうつ傾向のある参加者

の群とうつ傾向のない参加者の群に分け、参加者の性別、身長、体重、既往歴、飲酒歴、喫煙歴や尿酸値を含めた血液検査データについて統計的手法を用いて比較します。さらに、ロジスティック回帰解析という統計学的手法により参加者の背景の差を出来る限り小さくした際に尿酸値が抑うつと関連を持つかを検討します。

なお、本研究で利用する情報は、先行研究「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発（承認番号：2021-166-3）」で収集し、加工（氏名、住所および生年月日と切り離し、照合のための符号・番号を付与）され、岩木データベースに登録された情報です。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。そのため、本研究により個人に還元する臨床的意義のある結果は得られないため、個別の結果については原則としてお答えできません。

研究への利用に同意いただけない場合には、「情報利用提供停止願い」をご提出ください。受領後、その方の試料・情報を対象から除外します。ただし、ご連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない方/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

本件連絡先	弘前大学医学部附属病院麻酔科 助教 竹川 大貴 住所 〒036-8562 青森県弘前市在府町 5 電話 0172-33-5113 Email takekawa@hirosaki-u.ac.jp
情報利用停止願送付先	弘前大学大学院医学研究科附属健康・医療データサイエンス研究センター 医療データ解析学講座 教授 玉田 嘉紀 住所 〒036-8562 弘前市在府町 5 電話：0172-39-5037(代表) FAX：0172-39-5205